

多摩陵
御工事

と高級セメントの使用

一 記者

○

大正天皇の靈柩を永遠に鎮め奉る多摩陵は昨年發布せられた新陵墓令に準據して御造營相成るもので玄宮工事の如きは從來の桃山陵等と大に異り、御石廓は4尺厚のコンクリート基礎の上に半圓形の鐵筋コンクリート造りで内徑、高さとも15尺5寸、厚さ約2尺3寸の堅牢なるもので正面中央に高さ10尺、幅7尺の入口が設けられる。百日祭後は更に2尺5寸のコンクリートで覆ひ一年以後は玄宮本屋の總檜破風造り建物を撤去して花崗石にて覆はれる事になつてをる。

此の玄宮内の石廓コンクリート部は最も急速完全なる施工を必要とするので、コンクリート用のセメントは淺野セメント會社川崎工場で、現在設備の最高能力を發揮して到達し得らるゝ最高級のセメントを臨時に製造したものである。其製造は東京帝大工學部の永井彰一郎氏が監督指導したもので、所謂超高級セメントに準ずる品質である。

一般に高級セメントとしての條件は

1. 水硬率が高い事
2. 粉末度が高い事
3. 成分の均一を保つ事
4. 焼成温度の高い事

等であるが現在の製造機械設備では1. 3. 4. の條件に適する製品は無圖ケしいので、2. の粉末度に於て最も努力したものである。

而して今回のセメントは普通セメントが28日間

に發揮する強度を4日間で發揮する事が出来る。且つ凝結の際に華氏100度以上の化學的溫度を發生するから嚴寒中の施工にも耐える。此のセメントが今回の御陵工事に多大の効果あつた事は申す迄もない。

淺野セメント會社が命をうけて製作に着手したのが、昨年12月26日で本年1月3日には既に宮内省へ1,000樽を納入した、而して玄宮工事には晝夜兼行で施行せられ、あの寒夜零下7度と云ふ様な時ですら難なくコンクリート工事は進められた。

此のセメントに就ては何れもつと詳細の事を報導したいと思ひます。

○

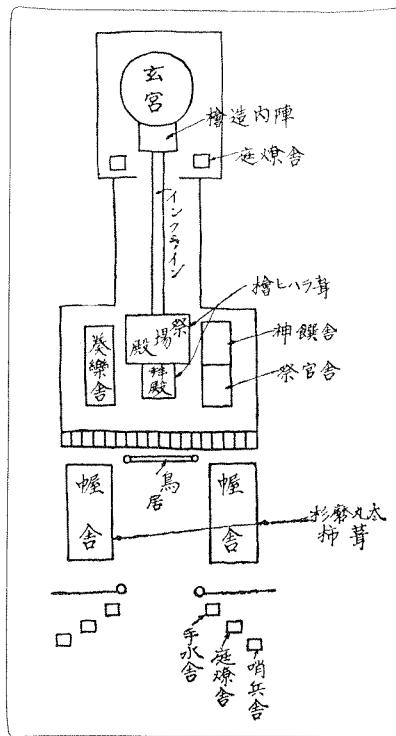
御陵主要工事たる玄宮の正面は檜造り方3間の御内陣で、其所より40尺下の外陣から110尺のインクラインにより靈柩を運び參らす様になつてをり、インクラインは鐵道省で施工する事になつてをる。外陣の一割15間四方は祭場殿其他の建物で全部檜造りの本建築である。其他の建物は何れも假設的のものである。

御陵工事は大林組が特命をうけたもので約3,000人の従業員で工を急いでをる、尙ほ鐵道省の淺川臨時驛工事、東京府の道路、橋梁工事等にも數百人の従業員が工事を急いでをる。總て

は非常な緊張裡に敬虔な態度であるから豫定の二月五日前に全部の工事を終るものと見られてをる。

(一月二十日)

Plan of the Tama Imperial Tomb.

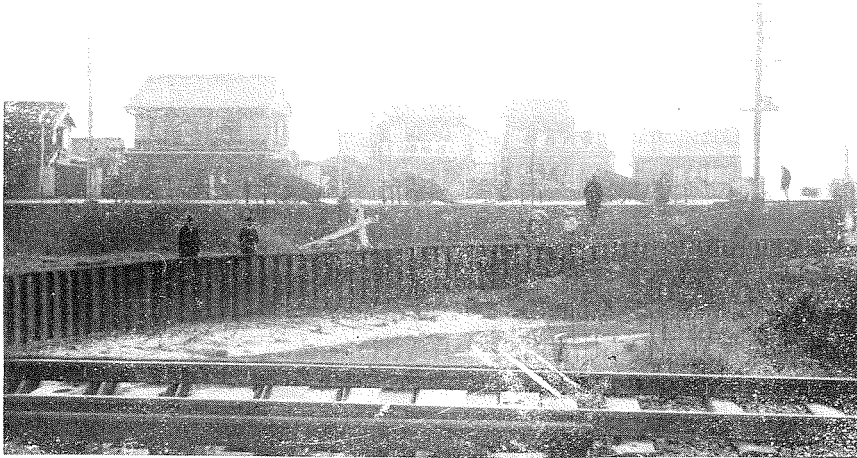


多摩陵御工事の平面路圖
(御陵として立體圖は未だ何ふ由もないのであります)



テル、ルージュ型鐵矢板

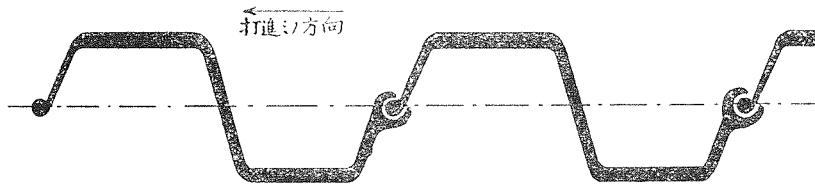
(Terres Rouges Steel Sheet Pilings)



テル、ルージュ型鐵矢板護岸工事

東京府御施行京濱國道筋東京市外蒲田町内呑川

テル、ルージュ型シート・パイル断面圖



— 特 徴 —

- (1) 同一重量ニ對スル被覆面積最大ナリ
- (2) 斷面剛率最大ナルヲ以テ最低ノ工費ヲ以テ他ト同一強度ノ構造物ヲ作り得
- (3) 結合溝ノ構造合理的ナルヲ以テ打込引拔キ最容易ニシテ上圖矢ヲ以テ示セル方向ニ打進メバ結合溝ニ土砂浸入シ次杭ヲ引ズルコトナシ
- (4) 直角ニ屈折セル構造物ニモ異形杭ヲ使用スル要ナシ
- (5) 個々ノパイルト構造物トシテノ中軸線ハ全然一致スルヲ以テ計算上ノ疑義ナシ
- (6) 打込ニ當リガイド用フロッツクヲ使用スル要ナシ

テル、ルージュ型鐵矢板製造會社

ルクセンブルグ公國コルメタ社

日本總代理店 株式會社 **岩井商店**

本店 大阪市東區北濱四丁目四三 電話本局自344至346 本局自3854至3856
 東京支店 東京市京橋區柳町三番地 電話京橋自3121至3128
 支店所在地 神戸、横濱、福井、鹿兒島、上海、漢口、倫敦、紐育

スラムテスト用具發賣

混凝土試験の最も簡便なる方法

混凝土の強度を一定する

爲めに

先づ

混凝土の稠度 (Consistency) を試験する事が最も必要であります。稠度を試験する方法にスラムテスト、フローテスト、プレートテストの三種の方法がありますが、先づ最も簡便な方法として各現場で誰にでも手軽に実行出来るのはスラムテストであります。

スラムテストは各現場で夫々現在練合してをらるゝ混凝土の水加減が設計の混凝土強度と一致してをるか何うかを知る最も輕便な方法であります。

手数のかゝる面倒な試験は現場で申々実行出来ません、先づ簡便なる方法から御始めなさい。夫には誰にでも現場で直ぐ実行出来るスラムテストに限ります。

工事畫報社研究會はスラムテスト用具一組を箱入にして今や各地の工事現場へ分讓してをります。

一組の用具は

一組箱入 金拾七圓 荷造料運賃市内=限り弊社負擔
一組入の箱の大きさ 11 $\frac{1}{2}$ " × 18 $\frac{1}{2}$ " × 13 $\frac{1}{2}$ "

- | | | |
|---|-------------|----|
| 1 | スラムブコーン | 壹個 |
| 2 | 搗棒 | 壹本 |
| 3 | コテ | 壹個 |
| 4 | スコープ | 壹個 |
| 5 | 檢寸定規 | 壹本 |
| 6 | スラムブテスト記入用紙 | 百枚 |

以上を一組とし箱入にしてあります。使用法とテストの記入法などカードに印刷して箱の蓋に貼付してありますから、工事監督の工夫君にでも助手君にでも直に使用出来ます。

工區の廣い處は各コンクリート箇所に一組宛備へて毎日練初めに一部分のテストをやるのです。一日の内にでも變つた材料を使用する時は案外に水分の多い砂などを知らぬで使ふ事がありますから、二回でも三回でもテストする事が必要です。

ビルデング工事などでは基礎とか、床とか、柱とか、壁とか、皆夫々異つた水加減の混凝土を造らねばなりませんから、二組位を備へて置いて時々テストする事が必要です。

東京丸ノ内仲通り四號館七號 工事畫報社